

「地域防災の日」に合わせ市内各地で防災訓練を実施

◎危機管理課 ☎36・7320

12月1日の静岡県「地域防災の日」に合わせて、市内各地で地域防災訓練が行われました。

当日は、大規模地震が発生した場合の被害を想定して、地区防災訓練や本部参集訓練、衛星携帯電話を用いた通信訓練やFMサイマル放送の聴取訓練などを実施。自助・共助の取り組みを促し、防災意識を市全域で高めました。地域孤立対策に注力する、伊久美地区の犬間自主防災会は、今回初めて市と共同で、ヘリコプターの誘導



離陸するヘリを見守る住民ら

訓練を行いました。ヘリコプターによる救助を想定したこの訓練には、地域住民約50人が参加。消防職員指導の下、離着陸を誘導する旗振りを行いました。

新病院の名称とロゴマーク提供者を表彰

◎病院建設課 ☎35・2111

市立島田市民病院は、新病院の開院に合わせ、名称を「島田市立総合医療センター」に変更します。12月20日、市はこの新名称およびロゴマークの提供者を表彰しました。

名称応募者として表彰されたのは、看護専門学校に通う竹中紗帆さん。「地域の皆さんが安心して医療を受けられるように」との願いが込められています。またロゴマークは、病院設計者の(株)内藤建築事務所から提供されました。新病院の開院は、令和3年5月初旬を予定しています。



(左から)青山病院事業管理者、河崎取締役、竹中さん、市長

小中学生防災標語コンテスト優秀作品が決定

◎危機管理課 ☎36・7320

小中学生の防災意識を高めるため、毎年実施している「防災標語コンテスト」の優秀作品が決定し、12月20日に表彰式が行われました。

最優秀賞の柴田陽生さん（島二中1年）は「防災について考えるきっかけになってほしい」と、中野陽太さん（相賀小6年）は「周りの人に訓練の大切さを意識してもらいたくて、標語を作った」と話しました。

▽水害は 想定外の 出来事だ（柴田さん作）▽考えて 何のための 訓練か（中野さん作）



(左から)山崎さん、竹原さん、柴田さん、中野さん、奥田さん、朝日さん

(株)フジヤマとリバーフレンドシップ同意書を締結

◎すぐやる課 ☎36・7181

12月12日、市・県島田土木事務所と(株)フジヤマ島田営業所が、リバーフレンドシップ同意書に調印しました。

同制度は、県が管理する河川で美化活動を行う団体を、県や市が資機材の提供や廃棄物処理などで支援するものです。調印式では、染谷市長と県島田土木事務所の後藤典弘所長、(株)フジヤマ島田営業所の後藤典弘所長が同意書の内容を確認しました。同社は市内で31団体目の締結団体で、伊太谷川の美化活動を行います。



調印する(株)フジヤマ島田営業所の後藤所長(左)